

例会報告

Rotary



第2770回例会
令和7年2月7日

ロータリーの
マジック

クラブアッセンブリー

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 田中 晶洋
- 会報委員長 阪下 六代

<会長の時間>

Ping-Pong から卓球へ

(1) ピンポンの名称が卓球(テーブルテニス)になった経緯を調べてみました。イングランドでの卓球
芝のコートで行うローンテニスは屋外で行います。イングランドは雨の日が多いので、雨天の時は即興的に、テーブルを台にしてワインのコルク栓を用いて遊んだそうです。1800年代の末(年代は不明)は、テーブルテニスと言われていました。1890年代イングランドの人がアメリカの子供がセルロイド球で遊んでいるのを見つけてセルロイド球をボールとして普及するようになりました。セルロイド球を打つと打球時に「ピン」、コートに弾んだ時に「ポン」と言う音がするのでピンポンと呼ばれるようになりました。当時なんでも商標登録する習慣がありましたのでピンポンはすぐに商標登録されたそうです。1922年イングランドでピンポン協会が設立されたそうですが、すでに商標登録されていることがわかり、すぐにテーブルテニス協会に改めたそうです。1926年に国際卓球連盟(現在まで続いています)が創立されました。



(2) 日本への伝来 1902年イングランドへ留学していた坪内玄道教授(東京高等師範学校)が普及を目的にピンポンの用具を日本へ持ち帰り、更に業者に用具を作らせました。しかしスポーツとして評価は低く、例えば関西学院大学では運動部ではなく洋楽部などとともに社交部に属していたそうです。ピンポンのスポーツ化を目指していた人々は、同じ球技でも野球や庭球(テニス)には球と言う字がついている、と言うことでピンポンを卓球と命名しました。1931年日本卓球会(のちに財団法人日本卓球協会)が設立されました。RCの設立が1905年、ピンポンが日本へ伝来したのが1902年、先輩たちのためめ努力によりRCや卓球の今日の盛隆があると思います。

<幹事報告>

◎RI日本事務局より

- ・2月のロータリーレイトについて
1ドル154円(1月157円)

◎ガバナーエレクト事務所より

- ・2025年会長エレクト研修セミナー(PETS)のご案内

日時 2025年3月30日(日)
登録受付 10:00 点鐘 10:30
懇談会 17:30 終了 19:00
場所 名鉄グランドホテル

◎ガバナー、地区青少年交換部門委員長より

- ・国際青少年交換2026-2027夏期派遣学生募集案内
派遣先 アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、ノルウェー等
資格 出発時の年齢が満16歳以上18歳未満でロータリークラブの推薦する高校1年生・2年生の者)で、学業成績は平均以上で、日本国籍を有する者
期間 2026年8月より1年間
選考日 7月27日(日) ホテルグランヴェール岐山



- ◎第2630地区奉仕プロジェクト部門委員長 勝川 生年 様より
・社会奉仕事業に関するアンケート結果確認のお願い
- ◎一般社団法人ロータリーの友事務所より
・2025-26年度版 ロータリー手帳お買い上げのお願い
- ◎飛騨高山国際協会 事務局長 藤垣 武史様より
・シビウ国際演劇祭ボランティアスタッフ募集について(ご案内)
派遣先 第32回シビウ国際演劇祭(ルーマニア・シビウ市)
令和7年6月20日(金)~6月29日(日)の10日間

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
33名	-	33名	38名	91.66%

<本日のプログラム>お祝い

◎会員誕生日 ※当日欠席 遠藤 隆浩 2.2

鴻野 幸泰
2.13

野尻 陽子
2.13



◎配偶者誕生日

田中 晶洋 晶子 さん 2.24
杉山 和宏 啓美 さん 2.19
堀 幸一郎 由美さん 2.08

◎結婚記念日



岡田 賛三、田邊 淳、 杉山 和宏、川瀬 裕之
2.10、2.26、 2.23、2.1

◎出席表彰



塚本 直人、 垣内 秀文、 堺 和信 大村 貴之
12年 6年 10年 12年

例会報告

◎在籍周年記念表彰

該当無し

◎3ヶ月表彰

・大村 貴之 ・鴻野 幸泰 ・堺 和信 ・田中 晶洋
・塚本 直人 ・水梨 弘基

新会員紹介

周 光大
株式会社光華眼鏡店
代表取締役副社長



出席プログラム委員会

委員長 野尻陽子

本日の出席プログラム委員会は、飛騨高山蒸溜所の有巢 弘城 様ご講話をお願いしました。略歴をご紹介します。

有巢様は1984年生まれの40歳。成城大学卒業後はコンサルティング会社にて企業再生における各種業務や組織再編・事業承継コンサルティング等を経験され、2010年8月、ご実家の「(有) 船坂酒造店」承継に伴い、責任者としてUターン。その後、組織の中心に立ち、日本酒の製造改革はもちろん、リキュールや他の関連商品開発、直売小売店・飲食店の事業確立等により、承継後約10年で売上高を6倍に増加されました。2023年3月に岐阜県初のウイスキー専門蒸溜所「飛騨高山蒸溜所」を設立し、飛騨高山の新たな発展を願いながら、更なる観光活性化に注力されています。では有巢様、よろしくお願ひ致します。

(有) 船坂酒造店
(飛騨高山蒸溜所)
代表取締役社長

有巢 弘城 様

【略歴】

高山で飲食から始まったアリスグループの跡継ぎ候補として、親族が商売をしている背中を見ながら、地元斐太高校卒業。進学を機に上京。成城大学を卒業した後、山田ビジネスコンサルティング株式会社に入社。企業再生や組織再編、事業承継スキーム等を経験。

2010年、実家グループが船坂酒造店を承継することとなり、そちらの責任者を担うため、しぶしぶ帰郷。帰郷した冬の冬に飲んだ新酒(しぼりたて生酒)の旨さに大変感動し、日本酒の魅力にどっぷりハマり、奮起。店長、常務を経て、2015年5月より現職。日本酒の営業はもちろん、飛騨高山の観光活性化にも注力し、積極的に飛騨の酒や地域のPRで国内外に営業をしている。



船坂酒造店について

【商紋: 四ツ星(よつぼし)】
周りの3つが酒造りに大切な「米」・「水」・「風土」。それをつなぐ真ん中が船坂酒造店に関わる「人」とその「情熱」



【会社概要】

創業：江戸時代末期（200年以上の歴史）
業種：①酒類製造卸業 ②土産物小売業 ③飲食業

【沿革】

- 2009年9月アリスグループにて事業承継
- 2010年4月売店リニューアル、5月飲食オープン
- 2013年12月新工場の完成&稼働
- 2015年4月観光活性化マザーファンド活用
- 2017年5月「四ツ星」が全国新酒鑑評会で金賞受賞(平岡社就任初) 9月特純が「コーシャ認定」取得
- 2018年2月地域産業資源活用事業認定(名国局・中経局・中経局・中農局) 3月はばたく中小企業300社(2018) 選定(経済産業省) 12月地域未来牽引企業選定(経済産業省)
- 2022年3月ウイスキープロジェクト記者会見
- 2022年5月クラウドファンディング「Makuake」成功
- 2023年3月飛騨高山蒸溜所開校式
- 2023年5月蒸溜所本格製造開始

【経営理念】

笑 倍 絆 醸

一緒に働いてくれる仲間や、いつも応援いただくお客様、支えてくれる地域やここから御縁(絆)をいただいた全ての方々へ感謝し、感謝されることで、世界中を「笑顔」で「幸せ」にしています！

【活動指針】

- 1：世界中の日本酒を愛する人はもちろん、まだその魅力を知らない人に対して、日本酒の美味しさ・楽しさを知っていただき、日本酒業界・飛騨の酒ブランドを盛り上げてます。
- 2：飛騨高山を訪れてくださった世界中のお客様に対し、日本酒を通して、観光の思い出づくりを精一杯サポートするとともに、地域と連携して、飛騨高山を世界中へPRします。
- 3：船坂酒造店に関わる全ての従業員とその家族が、笑顔で幸せであり続けられるよう、お互いが助け合い、支えあい、協力しながら、楽しんで「日本酒のテーマパーク」を運営します。

目指せ！観光一体型プロモーション「いって、こい」

1. 地域外へ商品を出荷する(イベントを行う) 1 2.
2. 地域外で、「弊社」地域」を知ってもらう
3. 実際の地域で、付加価値体験を！
4. 戻って「ロコミ」→「リピート(新規・再訪)」

「深化」と「探索」by「両利きの経営」(チャールズ・A・オリリー他) 昔に比べ、各種技術革新がスピーディーに起こる中で、企業の経営環境も変化が激しい時代になってきた。そんな変化の激しい時代だからこそ、企業経営においては、改めて以下2つをバランスをもって両立させることで変化に対応していくことが大切と言われて

「深化(しんか)」: 既存事業の深堀り(品質改善、性能向上、効率化等)
ex. 任天堂(ハード開発)

「探索(たんさく)」: 新たな事業機会の発掘(チャネル開拓、技術開拓等)
ex. 富士フィルム(化粧品事業)

船坂酒造店の「深化」戦略

- ①：四季醸造による製造効率化 ②：①を活用した産業体験化
- ### 四季醸造のメーカーメリット【「通常」と「四季醸造」の違い】
- <① 設備規模>設備資産の回転率を上げるため、必要保有設備が減少かつ小規模に(設備コストが縮小)。
 - <② 運転資金>常に製造と販売を繰り返すため、資金の回転も向上し、運転資金が減少。
 - <③ 1本あたりの醸造量>1度の仕込み量が少なくなる(大量に造る必要性が無くなる)ため、失敗への許容度が増加。

例会報告

<④ 年間の仕込み本数>

仕込みの回数が増加するため、教育も行いやすく、また、新商品開発の回数と開発までの速度が向上。

四季醸造が実現していく付加価値の向上

「船坂酒造店へ行きたいから、飛騨高山へ行くんだ！」という圧倒的的目的型店舗への成長

日本の魅力「四季」と、観光の醍醐味「地域限定」を最大限付加した商品提供によるお客様の価値感（満足度）の向上

いましか（時間的限定）…食材には、四季によって旬があります。

日本酒も四季の食に合わせた造りで新たな発見と楽しさを。

ここしか（場所的限定）… 観光地飛騨高山にある観光酒蔵だからこそ、ここでしか提供していない日本酒を限定販売。

日本酒を目的に観光客が増加すれば、基本的には滞在が長くなるだろう。それにより地域における消費金額と、更なる発見に出会う機会の増加を。

いましか・ここしかの商品イメージ

【赤福朔日餅】毎月1日のみ販売される限定の餅菓子（これを買うために早朝から長蛇の列ができる）

※愛知と阪神の一部百貨店では購入可能

2月の朔日餅「立春大吉餅」、3月の朔日餅「よもぎ餅」、

4月の朔日餅「さくら餅」、5月の朔日餅「かしわ餅」、

6月の朔日餅「麦手餅」、7月の朔日餅「竹流し」、

8月の朔日餅「八朔栗餅」、11月の朔日餅「あびす餅」

12月の朔日餅「雪餅」

⇒ 我が社で実行するなら、「当月しぼり」のような形で、各月ごとに、本店でしか飲めない・買えない日本酒を提供していくこと

ウイスキー事業へ参入きっかけ

富山にある三郎丸蒸留所で、創業家一族稲垣氏の「一つのウイスキーを通じて過去と現代がつながったように感じた」という言葉に感銘を受け、コロナという将来が分からない時代を経たからこそ、飛騨高山の伝統や街並みのように、代々にわたって引き継がれる蒸留所を作り上げ、未来へ価値をつなげていくウイスキー造りを飛騨高山にて行いたいと思い・決意し、事業化への実現性を模索することとなりました。

とはいえ、本当に自社がウイスキー事業をやるだけの事業シナジー（必然性）があるのかを検討したところ、アルコール製造技術が活用でき、いろんなポイントで、ある意味正反対の商品であることが強みになると理解。

	日本酒	ウイスキー
国認識	和酒	洋酒
酒類分類	醸造酒	蒸留酒
価値基準	新鮮	熟成
製造時期	冬～春	春～冬

施設コンセプト「ノスタルジック&エモーショナル」

飛騨高山蒸留所の設備概要（総費用&各種資金調達）

【設備概要】

建物：旧高根小学校
<蒸溜>体育館（集会場）

<貯蔵>校舎1F部分
蒸溜所面積390㎡

/ 総敷地面積2900㎡

特徴：国産蒸留器

「ZEMON II（ゼモン）」

【総費用】

建物リノベ：約1.1億円、機器導入：約2.4億円合計約3.5億



【各種資金調達】

<補助金関連>

・事業再構築補助金6,000万円、クラウドファンディング約3,000万円、その他補助金1億500万円

<特殊金融スキーム>

・SDGs 私募債（5年一括償還社債）1億

（※高山信用金庫・十六銀行各5,000万円ずつ）

2022年3月25日（金）～5月29日（日）までの約2か月間、「Makuake」

にてクラウドファンディングを実行。おかげ様で、3,760万円強

（929人）の応援購入によるサクセスを達成！

（Makuake内の酒ジャンルで堂々の1位（※2022年5月末時点）

世界に誇るロゴデザインの完成

Produced by 野老 朝雄



地域波及①：つくる責任を満たす飛騨牛Win-Win循環
地域波及②：「飛騨牛」に更なる付加価値を！

… 麦粕を沢山食べた母

飛騨牛から生まれてくる

子牛達は、当然ウイスキーとの相性がバッチリ

であると思われる。ブランド

となっている飛騨牛に、新たな付加価値が加わると共に、

ヒダハイボールなどのマリアージュ提案も含めれば、食文化に更

なる価値向上が図れるかもしれない。

地域波及③：農業連携岐阜県産麦の使用にむけて

… 岐阜県内では、元来麦の栽培がそれほど盛んでなく、補助金

関係も酒用には整備されていない。よって、取り急ぎ自己資金

で瑞浪の農家に依頼し試作中。（※二条じゃなく、六条大麦）

地域波及④：飛騨の匠による地元産の樽による熟成

… 当地には「飛騨の匠」と呼ばれる木工技術集団が存在し、現

在でも木工技術が残っており、評価の高い家具メーカーが多く存在する。

その飛騨の匠の技術を活用したウイスキーの熟成樽を、日進木工に製造してもらい、地域ストーリーを活か

したウイスキー造りが実現。



例会報告

地域波及⑤：オール岐阜県産ウイスキーの誕生を夢みて

… 地域波及③と④が組み合わせることにより、オール岐阜県産のウイスキーを誕生させ、ストーリーと共に地域を知ってもらおう。

地域波及⑥：更なるストーリー・連携の重層化

… ウイスキーは、前に樽に入っていたアルコールの風味を受け継ぎ製品を作る。地域内に新たに誕生したワイナリーとの連携により、新たな匠達のこだわりと想いが重層的に絡みあった商品も提供していきたい。（※バーボン、シェリー、ワイン、ビール、ジン、ラム）

地域波及⑦：関係人口増加による地域プライドの再興

… おかざ様で全国から1年間で1000名以上の来訪者が、高根までお越しになっている

地域波及⑧：地域消費の向上、新たな面的観光の醸成

… わざわざ足を運びたい施設ができることにより、旧来施設への来訪客の増加などの相乗的な経済効果も。

Ex 道の駅「ひた朝日村」、道の駅「飛騨たかね工房」、塩沢温泉「七峰館」、南乗鞍無印キャンプ場

地域波及⑨：ウイスキーでも「いって、こい」モデルを！

… 台湾「猫尾崎蒸溜所」との樽交換を検討。日台交流ボトルの両国発売等を経て、国際観光客の増加を増やす。

未来へバトンをつなぐ象徴として、地域の誇りへ

現代には金にならないから、残せなくなった地域の宝がたくさんあります。たくさんのお思い出が詰まったその宝をどうやったら残せるか、この蒸溜所プロジェクトはその試金石でもあると思います。大好きな地域のため、将来飛騨に住まう我が子孫のため、100年後の未来に向けた新たな我が学び舎として、『飛騨高山蒸溜所』設立に精一杯していきたいと思っています。是非、飛騨高山蒸溜所でお待ち申し上げます。



<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、田中 晶洋さん

久しぶりの大雪にびっくりですね。運動不足となりがちな冬の雪かきエクササイズもそろそろ限界がきそうです。

本日は出席率が91.07%とビックリの出席率です。これが大雪の原因かもしれません。本日夜は中澤さん谷前さんの歓送迎会です。ご参加の皆様宜しくお願い致します。

●挾土 貞吉さん

有巢さんのスピーチ楽しみにしています。

●田近 毅さん

有巢 弘城様のご来訪を歓迎申し上げます。卓話楽しみにしています。

●井口 大輔さん、野尻 陽子さん、平 康裕さん、斎藤 章さん

今日は船坂酒造社長 有巢 弘城さん 何をどう面白おかしく話してくれるのかとても楽しみにしています。P.S. ご入会おめでとうございます。

●下屋 勝比古さん

本日より入会されました周 光大様を心より歓迎します。宜しくお願いします。

●周 光大さん

入会させて頂いて光栄です！！

●古橋 直彦さん

暦の上では立春も過ぎましたが3日間連チャンで除雪車の音が目が覚めました。1月末時点ではひよっとしたらこんな程度で3月に向かうのかと思いましたが予報通り寒波が上陸しました。この時期、あまり身体を動かさないので皆様、明日の朝も元気に雪かきをしましょう。

●斎藤 章さん

しばらく休会させて頂いておりましたが大分 元気になり復帰しました。宜しくお願い申し上げます。

●岡田 賛三さん、内田 幸洋さん、鴻野 幸泰さん、大村 貴之さん、

田邊 淳さん、榎坂 純一さん、堀 幸一郎さん、川瀬 裕之さん、

熊谷 高志さん

今シーズン一番の大寒波の影響で日本海側を中心に記録的な雪となり、太平洋側も厳しい寒さが続いています。大雪は道路や鉄道などの交通障害や農業障害など、生活や経済活動に大きな影響を与えています。高山は比較的少ないようですが、それでも皆さん老体に鞭打ち、除雪に苦勞されていることと思います。明日から明後日にかけて再び寒気の影響が強まる予想です。雪による被害が少ない事を願いニコニコへ。